

海神といふ看板やしやぼん玉
 児と婆の沈むるときしやぼん玉
 入園の日の雪御堂のとびらまで

まえだとし女



『まえだとし女 全句』

わたつみと私かに読ませ春夕べ
 草餅を香りしますと割つてをり
 春寒の鯰の表示をまじまじと
 春服を動く見本がセールかな
 卒業期推定七百五十の木
 入学やその時時に坂があり
 桜時摘み立去るもシエフなれば
 弟はちやん付けで呼ぶリラの花
 仲春の東京にきて移動中
 果物を一つから買ふ春の人
 鷺宮までの車窓や鳥曇

『まえだとし女 全句』

